

リニエプラッツ吉祥寺

令和5年度 事業所向け児童発達支援自己評価集計結果

児	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	改善目標、工夫している点など
①	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	80.0%	20.0%		<ul style="list-style-type: none"> ・活動の内容・、プログラム、利用するお子様にあわせて指導訓練室を交代したり広くしている。 ・グループと個別を時間で分けながら効率的に使用できていると思う
②	職員の配置数は適切である	100.0%			<ul style="list-style-type: none"> ・定員に対し相応な配置数である ・利用児それぞれの様子をみて職員の配置を考えられていると思う。
③	生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっている。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされている。	100.0%			<ul style="list-style-type: none"> ・生活空間は、利用者にわかりやすく、事故が生じないよう導線を意識した環境設定をしている。 ・怪我のないようにカバーをつける等配慮できていると思う
④	生活空間は清潔で心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっている	80.0%		20.0%	<ul style="list-style-type: none"> ・交通量の多い通り沿いにあるため、窓際は刺激になりやすい。幼児のグループ療育では、活動中は窓側が背面になるよう机をセッティングしている ・幼児グループでは、運動課題時はパーテーションを開け運動スペースを広くし、机上課題や生活空間はパーテーションを閉め集中できる環境に配慮している ・個別療育時は、プログラム内容を事前に確認しながら運動課題と机上課題で使う部屋を時間で入れ替えシェアしている。 ・清掃は当番制で取り組むようになっているのでやり忘れないようにしている
⑤	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	40.0%	60.0%		<ul style="list-style-type: none"> ・スタッフ間のコミュニケーションを密に情報共有を意識している。また、自己評価を取り入れ一人ひとりが業務に対し目標を設定し振り返る機会を設けている ・活動の振り返りは時間がないので仕方ない部分もあるができれば複数人で取り組み、改善点や指導の狙いの共有は新人教育には必要だと思う ・グループでは年間計画を作り、スタッフ全員が共通の目標を持って関わらないと統一した指導ができないので必要だと思う <p>【対応】新人教育については、指導するスタッフをたてスタッフ育成に努めていきます。また、各グループの療育計画目標を明確化したうえでスタッフ全員が共通認識の上、サービスを提供できるよう構造化していきます</p>
⑥	保護者向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	80.0%	20.0%		<ul style="list-style-type: none"> ・昨年度の評価表で足りていなかったこと等をリストアップして今年度の事業計画に入れた ・保護者へのフィードバックを丁寧に行い信頼関係を築き保護者の抱えている思いをキャッチできるよう気をつけている ・今年は防災訓練も取り組み改善はしていると思う

児	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	改善目標、工夫している点など
⑦	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所としての自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開している。	80.0%	20.0%		
⑧	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	20.0%	40.0%	40.0%	・機会があれば評価を受けたいため、今後検討していきたい
⑨	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	80.0%	20.0%		・研修はしているが、主体的な学びになっているようにはあまり思わない 【対応】社内で実施しているベースアップ研修、月1回の事業所間の勉強会、新人療法士の教育プログラム（ケース検討）を等して、主体的な学びに繋げていってほしいと思います
⑩	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成している	100.0%			・フィードバックで様子を聞くことでニーズの確認をしている
⑪	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールをしようしている	60.0%	40.0%		・KIDSや遠城寺などのバッテリーを適宜しようしている ・アセスメントツールを使用しているが必ずではなく主観的評価になってしまっている点もある
⑫	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援(本人及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されている	100.0%			・児童発達ガイドラインの5領域を踏まえ、評価に基づいて内容を考えている
⑬	児童発達支援計画に沿った支援が行われている	100.0%			・支援計画を説明する際に現状についての確認を取り利用者、保護者ニーズに合った支援を設定している
⑭	活動プログラムの立案をチームで行っている	100.0%			・グループ制作を曜日制にし、個々が考える機会を設けられている ・活動プログラムはリーダー、机上課題担当（曜日固定）を主として設定していくが、利用児一人ひとりに対する支援内容や支援の量はスタッフ間でコミュニケーションをとり活動の目当て方向性を確認している ・相談できる環境づくりを心掛けている

リニエプラッツ吉祥寺

令和5年度 事業所向け児童発達支援自己評価集計結果

児	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	改善目標、工夫している点など
⑮	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	40.0%	40.0%	20.0%	・スモールステップで能力の発達を促していくことからプログラムが固定化してしまう。時々、感覚遊びを取り入れるなどの変化をもたせるなど工夫している ・利用児の様子を共有して話し合って内容を調整している
⑯	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせさせて児童発達支援計画を作成している	100.0%			・全ての利用児に適応できているわけではないが集団と個別を利用している児は集団の中で見られる困り感を個別でフォローする課題としている
⑰	支援開始前には職員間で必ず打ち合わせをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	80.0%	20.0%		・朝の会を毎日行い、役割分担、連絡事項、情報共有する機会を設けている ・毎回、内容は共有して話し合っている
⑱	支援終了後には、職員間で必ず打ち合わせし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等共有している	40.0%	40.0%	20.0%	・支援終了後の全員では打ち合わせが難しいため、記録を確認し把握してもらう ・時間がないと1人で振り返りすることにはなるが事前に自分が見れていない部分について担当者に確認したり、全体に気になった事柄は共有するようにしている
⑲	日々の支援に関して記録を取ることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	80.0%	20.0%		・記録をするスタッフの確保はできているが、次のプログラムの準備をするために他スタッフが十分に振り返りに参加できてない。 【対応】プログラム準備の時間を設定し記録に入る人数を確保していきたい
⑳	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断している	100.0%			
㉑	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	80.0%	20.0%		
㉒	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っている	100.0%			・気になることは上長に相談をし、関係機関に伝えるべき判断をしてもらうようにしている
㉓	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 地域の保険、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っている		100.0%		・現時点では利用がない

児	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	改善目標、工夫している点など
②4	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えている		100.0%		・利用がないため取り組んでいない
②5	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	80.0%		20.0%	・必要に応じて園に訪問し連携を図っている
②6	移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	80.0%		20.0%	・就学支援シートの記入、個別支援計画の提示 ・要望があれば就学支援シートや申し送り書を作成している
②7	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受け居ている	40.0%	60.0%		・スタッフの児童発達支援センターへの見学をさせていただく機会を設けていきたい
②8	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会がある		20.0%	80.0%	
②9	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加している				
③0	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達や状況や課題について共通理解を持っている	100.0%			・保護者が理解できるよう専門用語は使わず解りやすく丁寧に伝え、共通理解に努めている ・フィードバックで確認するようにしている
③1	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っている	60.0%	20.0%	20.0%	・口頭では相談に応じて対応を伝えているが、実際に関わり方をみてアドバイスしているわけではない 【対応】 今後、ペアレントトレーニング等、家族支援プログラムについて検討していきます
③2	運営規定、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	100.0%			・契約時に説明をしている
③3	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ている	100.0%			・保護者のニーズを聞き作成をしている

児	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	改善目標、工夫している点など
③④	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	100.0%			・傾聴、受容、共感の3原則、保護者に寄り添う姿勢を意識しつつ、必要な助言と支援を丁寧で分かりやすいものになるように伝え方を工夫している ・毎回、フィードバックをする機会を設けている
③⑤	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	40.0%	40.0%	20.0%	・機会がないため取り組んでいない 【対応】保護者会については検討していきます
③⑥	子どもや保護者からの相談や申し入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申し入れがあった場合に迅速かつ適切に対応している	80.0%	20.0%		
③⑦	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	60.0%	20.0%	20.0%	・フィードバックの際に活動内容を伝える ・口頭だけでなく書面で残せるようにプリントでお知らせをしている。日々の様子は写真を用いるなど具体的に伝えられるようにしている ・instagram、ブログ等で情報を発信している。今年度は定期的に発信ができなかったため、発信時期を明確にし定期的に発信できるようにする
③⑧	個人情報の取り扱いに十分注意している	80.0%	20.0%		
③⑨	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	100.0%			具体的に子どもの様子や関わりに対する反応をフィードバックするように気をつけている
④⑩	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	60.0%		40.0%	
④⑪	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施している	80.0%	20.0%		・決まってはいるが、全員が周知しているとは言えないと思う
④⑫	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	40.0%	20.0%	40.0%	・避難訓練の経験が少ない幼児のグループ対象に広域避難への引き渡し訓練を実施 ・定期的な間隔は決まっていない
④⑬	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認している	100.0%			・アセスメント用紙に服薬等の記入欄を設けている ・診断がある子に対しては保護者に確認を取っている

リエプラッツ吉祥寺
令和5年度 事業所向け児童発達支援自己評価集計結果

児	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	改善目標、工夫している点など
④⑥	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	80.0%		20.0%	・ 社内の必須研修にて虐待の講義を毎年受講している
④⑦	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載している	40.0%	40.0%	20.0%	・ 機会がないため取り組んでいない
④④	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	60.0%		40.0%	・ アセスメント用紙に、食物アレルギーの有無と注意事項について記入欄を設けている。ある場合は、スタッフ間で共有 ・ 指示書はないが保護者の確認はとっている
④⑤	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	40.0%		60.0%	・ 報告書はあげているが、事例集になっていない